

VOL.517 小さく光る 月刊神戸っ子

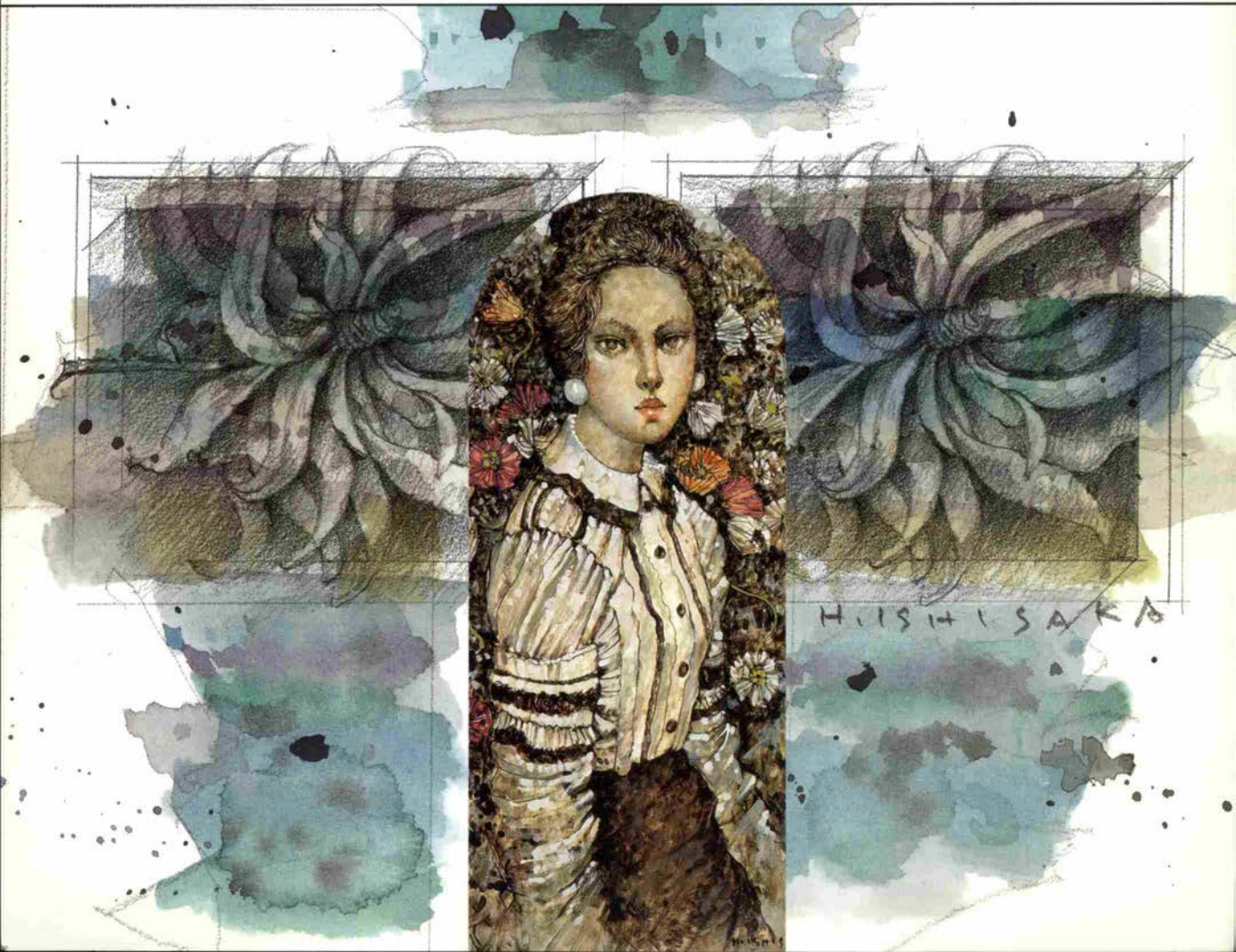
2004年7月1日発行 毎月1回1日発行 第43巻 第7号
通巻517号 昭和40年1月20日 第三種郵便物許可



KOBECCO

2004 7

kobecco.co.jp





PEARL COMMUNICATION



kinoshita
pearl

パールサロン神戸

神戸市中央区山本通1-7-7(北野坂)

TEL.078-221-3170

FAX.078-221-9427



夏色の記憶

JEWELRY タジマ

神戸市元町2丁目TEL.078 (331)5761



SUMMER FESTIVAL



Information www.kamine.co.jp



Since 1906 Kobe
kamine
Fine Jewelry & Watches



真珠をつけることが多い人生は、
充実した毎日だと思う。

真珠というジュエリーが選ばれる日。それは、貴女や貴女の大切な方の人生のステージが大きく動こうとする日。貴女の輝きが満ち満ちている日。真珠とともにポジティブに前進する女性たちにふさわしい煌めきを追求したら、これまでにない新しい輝きが生まれました。宝石の国、ミャンマーで育った白蝶真珠ならではの肌理細やかで厚みのある色合い、冴えわたる光沢。近づくほどにその魅力にひきこまれる「ミャンマーホワイト」という名のパール、田崎真珠に誕生です。



定番の先をゆくパール

Myanmar White

輝ける あなたと共に 50年

 **TASAKI**

この広告のお問い合わせはお客サービス窓口まで。 ☎ 0120-111-446 www.tasaki.co.jp

にっぽん丸「海の日」デイクルーズ

クルーズ客船
にっぽん丸
「感動航海」

海の日デイトム4時間クルーズ 神戸発大阪着



- ◆ 旅行期間 2004年7月19日(月・祝) 10:00~14:00
- ◆ スケジュール 7/19(月・祝)

09:00 ———— 受付
09:15 ———— 乗船
10:00 ———— 神戸港出港
10:30~11:45 — 田辺真人(園田女子大学教授)による講演
12:00~13:30 — 昼食
14:00 ———— 大阪港入港、下船解散

※食事・昼食1回

※上記スケジュールは気象・海象などにより変更となる場合があります。

※大阪からの帰路の交通費は各自負担となります。

- ◆ ご旅行代金 10,000円
(乗船料、食事代金、船内講演料を含みます)
- ◆ 締切日 2004年7月12日(月)
- ◆ 企画・主催 クルーズのゆたか倶楽部
- ◆ お申込 月刊神戸っ子 クルーズ係
お問合せ Tel.078-331-2246 fax.078-331-2795

お娘の
新!発見
まちとひとに素敵な笑顔を

santica
BARGAIN
7/1thu ▶ 5mon

抽選で当たる!
ニュー YORK
大リーグ 観戦ツアーにご招待

7月1日(木)~11日(日)のキャンペーン期間中に、さんちかをご利用の際にお渡しする応募券を館内設置の応募ボックスにご投函ください。抽選で大リーグ観戦ツアー等素敵な賞品をプレゼント!

santica
The New Heart of Kobe 神戸三宮さんちか
<http://www.santica.com>

Naoko Terai Summer Dinner & Concert 2004



寺井尚子

サマーディナー & コンサート

しなやかな感性、あふれだす情熱。

人気A&Jジャズ・ヴァイオリニスト 寺井尚子
優雅さと躍動感が融合する 感性豊かな演奏を
夏の彩り豊かなディナーコースとともに ころゆくまでお楽しみください

2004年 7月 17日(土) デイナー / 6:30p.m.~
コンサート / 7:50p.m.~

会場 / 1階「平安の間」 ※会場内は、全席禁煙とさせていただきます。

料金 / お一人様 ¥18,000

※ご案内の料金には、お料理、お飲み物、税・サービス料が含まれております。

Photo by Kunihiro Takuma



ホテルオークラ 神戸

〒650-8560 神戸市中央区波止場町2番1号 TEL (078) 333-0111

<http://www.kobe.hotelokura.co.jp>

ディナーショーご利用のお客様に特別宿泊プランをご用意いたしました

お一人様	お一人様	お一人様
ツイン ¥14,000	トリプル ¥10,500	シングル ¥17,850

※ご案内の料金には、一泊室料、朝食、税・サービス料が含まれております。

チケット発売中

ご予約・お問い合わせ (078) 333-3533 (受付時間/10:00a.m.~7:00p.m.)

■ ホテルホームページにてオンライン予約も承っております。

フェルメール「画家のアトリエ」 ルーベンス、レンブラント、ファン・ダイク… 栄光のオランダ・フランドル絵画展

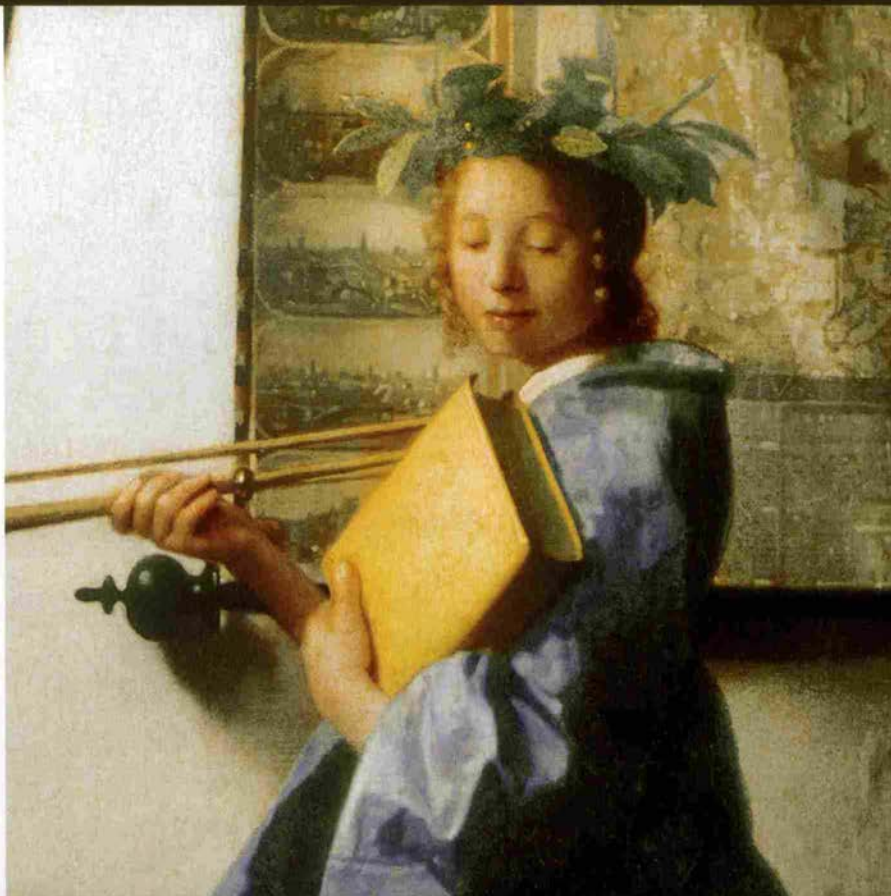
2004年7月17日(土)~10月11日(月・祝)

午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)、土・全曜日は午後7時まで開館(入館は午後6時まで)
月曜休館 ただし、祝日の場合は開館、翌日休館

【主催】神戸市/神戸市立博物館/読売新聞大阪本社/読売テレビ
【後援】外務省/オーストリア大使館/オランダ大使館/ベルギー大使館
【協賛】安藤建設/大阪ガス/大阪芸術大学/関西電力/きんでん/大和ハウス工業/
ダイワ情報システム/図書印刷/ニッセイ同和損害保険/非破壊検査/松下電器/
ヤママートヨタ自動車/KDDI/JR西日本/東レ
【協力】日本航空/ヤマト運輸

ウィーン美術史美術館は、オーストリア・ハプスブルク家の一族が収集した膨大な美術コレクションをもとに創設されました。歴史の古さと所蔵作品の質の高さは有名で、毎年多くの人々が世界中から訪れています。

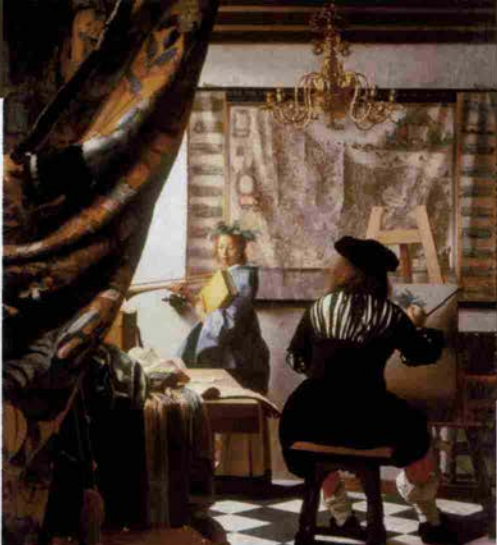
オランダ、フランドル絵画をテーマに構成しました。当時は代表する巨匠ルーベンス、ファン・ダイク、レンブラント、フェルメールらの名品58点をそろえて、栄光の時代が生み出した美の精華にふれていただくとうとするものです。なかでも、世界を魅了するフェルメールの「画家のアトリエ」は必見!!



フェルメール「画家のアトリエ」



ヨハネス・フェルメール「画家のアトリエ」(絵画芸術)
1665/66年頃
ペーテル・パウルー・ベンズ「キモンとエライゲテ」
1615/20年頃



レンブラント・ハルメズ・ファン・ラフマン「レイン」
「金鎖の首飾りとイヤリングを付けた毛皮の上着の自画像」
1655年



アントン・ファン・ダイク
「マリアと福音者ヘルマニヨ」セフの神秘的婚約」
1609/30年頃



ヤン・ブリューゲル(文)「小さい花卉画」陶製壺の」
1607年頃



神戸市立博物館

〒650-0034

神戸市中央区京町24

TEL:078-391-0035

新幹線「新神戸」から車で約10分/
JR「三ノ宮」、地下鉄(山手線)・
阪急・阪神「三宮」から南西へ徒歩
約10分/JR・阪神「元町」から南東
へ徒歩約10分/地下鉄(海岸線)
「旧居留地・大丸前」から南東へ徒歩
約5分

＜お問い合わせ＞

読売新聞大阪本社文化事業部

TEL:06-6366-1809

観覧料(円)	当日	前売り	団体
一般	1,500	1,300	1,200
高大生	1,100	900	800
小中生	600	500	400
シルバー	750		

※団体は30人以上

※高大生は、高等学校、高等専門学校、大学(短期大学、大学院も含む)。

専修学校(専門学校、予備校も含む)で学生証によって確認できる方。

※シルバーは65歳以上で、神戸市すこやか手帳持参の方。



神戸観光オペレーション

Produced by KURUMI COMPANY



はじめまして



くるみカンパニー有限会社 代表取締役
1973年生まれ 0型

私は、井上揚祐子と申します。7月号より、神戸の観光に関する内容を、このページに長期連載させていただくことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。お気軽に楽しんでいただくために、ラフな語りかけをさせていただきますと、お許しください。

私は、神戸生まれの神戸育ち、そして、神戸で起業をし、おかげで3年を迎えることができました。多くの方々に応援をしていただき、日々成長をしている次第でございます。最初ですので、私の長所をお聞きください。私は、きわめて、単純で、元気で、明るイタイプです。よく笑います。それと、はっきりしています。好きな物事には、非常に反応します。だから…国内外問わず、多くの方に私の大好きな神戸へ遊びにきていただきたい！という単純な発想で、私は、神戸観光オペレーションをオープンし、観光客の皆様より、多くの笑顔を頂戴することにいたします。

? くるみカンパニーの神戸観光オペレーションとは?



港町「神戸」。昔から神戸は輸出入の本拠地として栄えてきました。そして常に異文化やたくさんの方に囲まれています。現在ではおしゃれな街KOBEとして多くのファンをもっている観光都市。くるみカンパニーでは聞き取り調査を得意として、神戸の街のイメージや穴場スポットなど、市場調査を行なうことで、神戸観光の魅力作りに裏方でお役に立てまいりました。観光客に神戸を深く知ってもらうことで、また訪れたいという気持ちを持ってもらいたい…。そのために、私たちは日々努力しています。そこで7月からは外国人向けの神戸観光CALLセンターをオープンいたします。英語、北京語はもちろんのこと、ハンガリー語でのサービスを用意しております。言葉の弊害をなくし、思う存分に神戸観光を楽しんでもらいたいです。また、神戸の観光施設の活性、PR業務をさせていただきます。

穴場な施設をご紹介します!

～神戸の人気スポット:有馬のまち～



有馬のまちは、とても不思議な感じがします。神戸の中心から車で1時間もかからずにして、癒される空間という感じがします…そんなところに、ふらっと、出かけていってみたい。ここで、ご紹介させていただくのは、昨年に行きました、まだ、よく知られていない「有馬の工房」です。少し、支配人にお話をきいてみます。

井上 「有馬は、神戸の観光地として、かなり人気がありますよね。ここ有馬の工房は、どなたでも、自由にくつろげる有料個室部屋ということですが、他に何かあるのですか?」

阿南氏 「6月6日には、1階に「全寿庵」という、有馬そばがオープンし、あと、個室には、テレビがつき、ゆっくりと、おくつろぎいただけます。おもてなしの心を大切に、スタッフ一同お待ちしております」

井上 「旅館を予約されていない日帰り旅行をお楽しみいただいている方がいいですね。こちらの工房を訪れてくれるみなさまへコメントをお願いします」

阿南氏 「色々な方に、たくさんご利用いただき、楽しんでいただければと思います」

井上 「コメントをありがとうございました」

お問い合わせは…

有馬の工房
☎078-903-5554

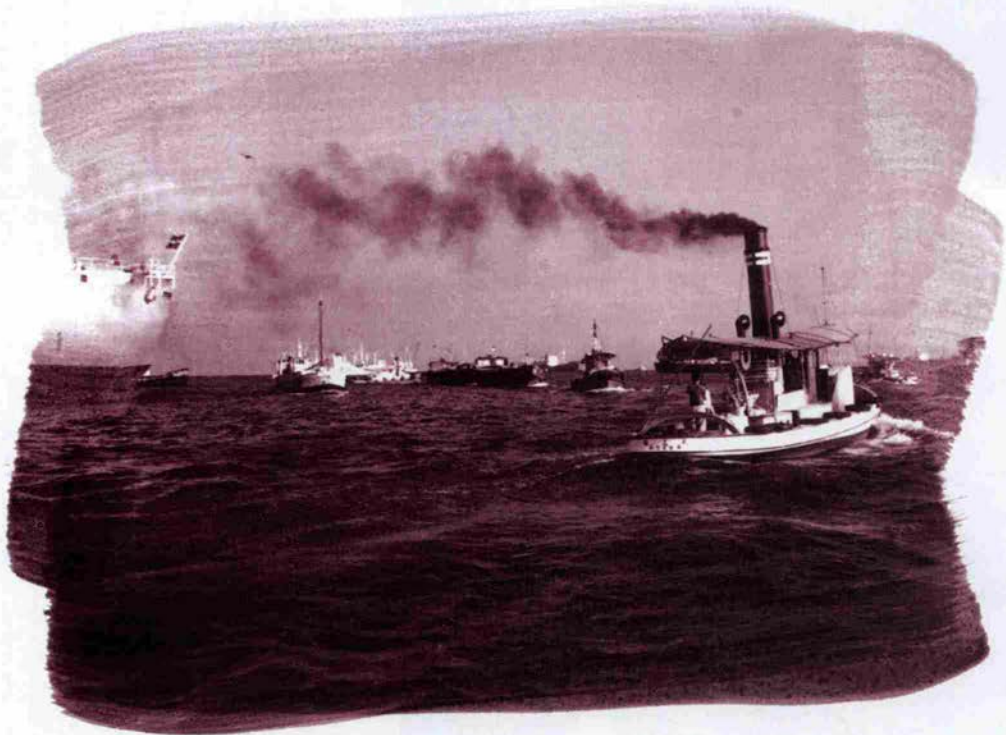
- 開館時間
午前9時～午後6時
- 定休日
毎月第4火曜日、1月1日



有馬本温泉金の湯・有馬温泉銀の湯・有馬の工房
支配人 阿南 俊介氏とスタッフの方々

SECOND COVER

これは神戸を愛する人々の手帖です
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人に楽しい道しるべ
これは神戸っ子の心の手帖です。



●神戸港・ランチ 昭和36年 海の記念日に撮影(1962)
このころの港は石炭で動く引船・通船の姫島丸が最後の一隻となった

撮影/米田定蔵

KOBECCO 2004

ジェシカ・ラングバイン

〈神戸市生活文化観光局国際交流課国際交流員〉

—外国人が普通に暮せる街に—

マイアミ出身のジェシカさんは、明るい笑顔が素敵なアメリカ女性。地方公共団体が外国青年を招致するJETプログラムという事業に参加し来日しており、今は神戸市役所内で仕事をしている。日本から外国へ出す書類や手紙の翻訳、外国からのお客様のアテンドや、広報誌「あじさい」の記事を書いたり、語学力と持ち前の明るさを活かし充実した毎日を過ごす。

ニューヨークの大学で東アジアの研究をし、源氏物語や日本の古典文学を学んだ。大学生の時には京都で留学生生活を送り、日本が大好きになった。文化や習慣の違いに途惑いながらも、違うことが面白いと感じられる若い柔軟な感性で、多くのことを吸

収している。

神戸は国際的な都市ではあるが、日本語を話すことも読むこともできない外国人が暮らしているという現実もあるので、これからも日本にいる外国人の役に立つような仕事をして、生活がしやすく普通に暮せるための手助けをしたいと語る。

アメリカのご両親は、子供たちが独立心をもって生きていくよう導く教育方針だった。厳しい中にも子供の意志を尊重してくれる家庭だったことが、ジェシカさんの生き方に大きく影響しているようだ。

たまにはママの手料理が恋しくなることもあるだろうが、独立独歩で自分の思う道を進んでいってほしい。

〈山本〉



KOBECCO 2004

藤原健二

〈絵本作家〉

—神戸をファンタジー の世界に—

絵本作家志望、だった彼も、小誌今月号より「トゥインクルとビッグ（t & b）」を連載開始（P 50）。神戸の風景を舞台に、コンピュータグラフィック（CG）のキャラクターが登場する。小さなトゥインクルと、4本指で大きさはポータタワーより少し小さいくらいのビッグは、人間の目には見えない精霊、神戸に住む精霊だ。トゥインクルはビッグのいたずらによって、神戸の海から山へ、いろいろな場所に連れて行かれる。「皆さんがこのお話を楽しみながら、神戸のいいところを見つかけたり、こんな場所があるのか、と思ってくれたら嬉しい」と、藤原君。

好きなマンガを模写するのが好きだったとか。小さな紙に緻密に描かれたバラバラマンガ（バラバラめくると絵が動いて見える）、小さな紙ねんどの人形など、趣味での制作といえど、その精巧さに驚く。

大学の卒業制作は「ギリシア神話」をもとにした絵本を作った。ふたりの精霊たちはそんな神話の世界に通じている。

「T & B」では、神戸の各地を巡るとともに、ひとつのストーリーがある。それはこれからの楽しみ。シンプルで、ファンタジックな、彼独自の世界が神戸に。

〈鳥羽〉





↑5月26日、南仏のワインメーカー、ネリダ・スネッド・アングーソン社のナジェル・スネッド氏を、新神戸オリエンタルホテルの谷口道廣総支配人が招待し「ワインメーカーディナー」を開催。

みなとの絵大賞
 →5月22日第一回「KOBÉみなとの絵大賞」開催。主催・NPO法人神戸クラフトアンガレ、メリケンパーク周辺で写真会が。



知香流花展
 →5月22日、23日、生田神社会館で知香流のいけ花展が。写真に成瀬香梅宗家、香泉琴元二世たち。

呉地方隊50周年神戸地区歓迎会
 →呉地方隊が50周年を迎え、記念行事で阪神地区に多数の艦隊が入港。神戸での歓迎会が、6月6日生田神社会館で。



チャリティコンサート〈過労死を考える〉

↓6月6日長田区ビフホールにて、過労死を考える家族の会くひだまりによる「ひだまりチャリティコンサート」が開かれた。つど心のあったかさ…多くの人々が参加。



●コウベスナップ

中国音楽コンクール
 →第5回中国音楽コンクールが開催され、入賞者による記念演奏会が、6月6日中華会館にて美しく開催された。



肥原碩甫

「兵庫県いけばな協会長の肥原碩甫さんが、日本いけばな芸術会理事長に就任、お祝いする会が、6月7日開催された。



末松信介

「6月1日、生田神社会館で、参議院選挙出馬を表明している末松信介氏をはじめ、会が開かれた。（社）神戸青年会議所のOBや現役メンバーが集った。



望月美佐の喜寿を祝う宴



↑書家・望月美佐さんが77歳。「喜寿の宴」が6月13日生田神社会館で。「夢」をテーマに、カクテルが披露されたり、子供太鼓の勇壮な演奏、おなじみの力強い「動の書」などが華々しく。

大阪・神戸ドイツ総領事を見送る会



「大阪神戸ドイツ総領事夫妻を見送る会が6月12日に、6年間総領事をうとめたフライング方さんはこれからも日本は私を誇りに放さないで、また会を早くして欲しいさう。

土井稔洋画展

「洋画家土井稔さんが、5月7日、6月8日タンギヤラリー「NOW」で洋画展を開催。鮮やかな色彩の世界。





●ある集い●キリンI-Iサロン

愛愛、I-I、違い違い 飲めば友だちキリンの仲間

ビールの王様キリンをこよなく愛する面々が集まってラガーを、一番搾りを飲もうという会が神戸にできました。元尼崎工場で好評だった「麒麟亭」の人氣にあやかっ、神戸でも何かできないかと思案した結果、他のビールを飲む会があつてキリンが無いというのはおかしいと、発足にこぎつけたのです。

名付けて「キリンI-Iサロン」。I-Iは愛愛であり、和氣藹々の蕩蕩であり、キリンが一番一番という意味もあります。とにかく、苦みばしったキリンラガー&ラガークラシックの旨さに惚れ、一番搾りのさわやかでスマートな味にすっかり参った人たちが寄つて酔つて楽しもうという訳。バラエティに富んだ、気軽で話し好きのメンバーたちで、ワイワイガヤガヤと談話がつづく。これがまた、嬉しい時間。

さあ、仲間に入りませんか。条件はたったひとつ、キリンが好き。

例会は、原則として奇数月の第4水曜午後6時30分から、中山手のラッセホール（県庁東）にて。参加費は5千円。ビールと焼酎、ワイン、ソフトドリンクが飲み放題、料理食べ放題。さらに、キリン製品が当たる抽選会も。お土産もあるよ。

〈中野友擴〉

■問合せ先：

文化教育新聞社

☎078-332-3664



●ある集い●神戸スポーツマンほろにが会

スポーツとアサヒビールを愛して38年

昭和28年(1953)秋、大阪の地に「関西スポーツマンほろにが会」が誕生した。鳥山隆夫(テニマ)を会長に京阪神のスポーツマンが参加したが、その主力は水連関係のメンバーだった。それから13年、昭和41年春、「神戸にもスポほろを作ろうや」という機運が持ち上がった。5月から6月にかけて数回の準備会が持たれ、昭和41年(1966)6月9日、神戸国際会館地下のニュー・コーベで、吹田大輔(水泳)他13名で発起人会が開催された。

当時神戸支店勤務だったアサヒビール現相談役瀬戸雄三氏の協力を得て、7月14日パリ祭の夜、吹田大輔暫定会長のもと第1回例会が開催された。以後例会日は毎月第2金曜日、場所は神戸国際会館地下ニューコーベ、時間は午後6時から7時まで、キッチリ1時間。水泳関係者が多かった為、開会と閉会は鐘を、カランカランと呼らすことになった。

初代会長後藤鞆雄氏(サッカー)から、高瀬昇氏(水泳)松野実氏(水泳)西邑昌一氏(サッカー)三浦清氏(アメリカン)と会長も変わり、現会長中村喜一氏(アメリカン)へと継がれた。歴代のメンバーも戦前戦後に、オリンピックで活躍した者も多い。現副会長馬淵かの子(水泳・飛び込み)も3度のオリンピック出場歴をもつ。今日まで38年間、阪神・淡路大震災のあった翌月2月だけが休会となった。

第1回から連続300回をこす皆勤出席の猛者もいた。当初は入会条件も厳しく、大ジョッキ7杯を飲み干すという儀式もあった。最盛期には100名を越す会員数を誇ったが、現在では50名前後である。入会条件もスポーツを愛する者と門戸を広げている。

■問合せ先

アサヒビール神戸支社・嶋正弘正

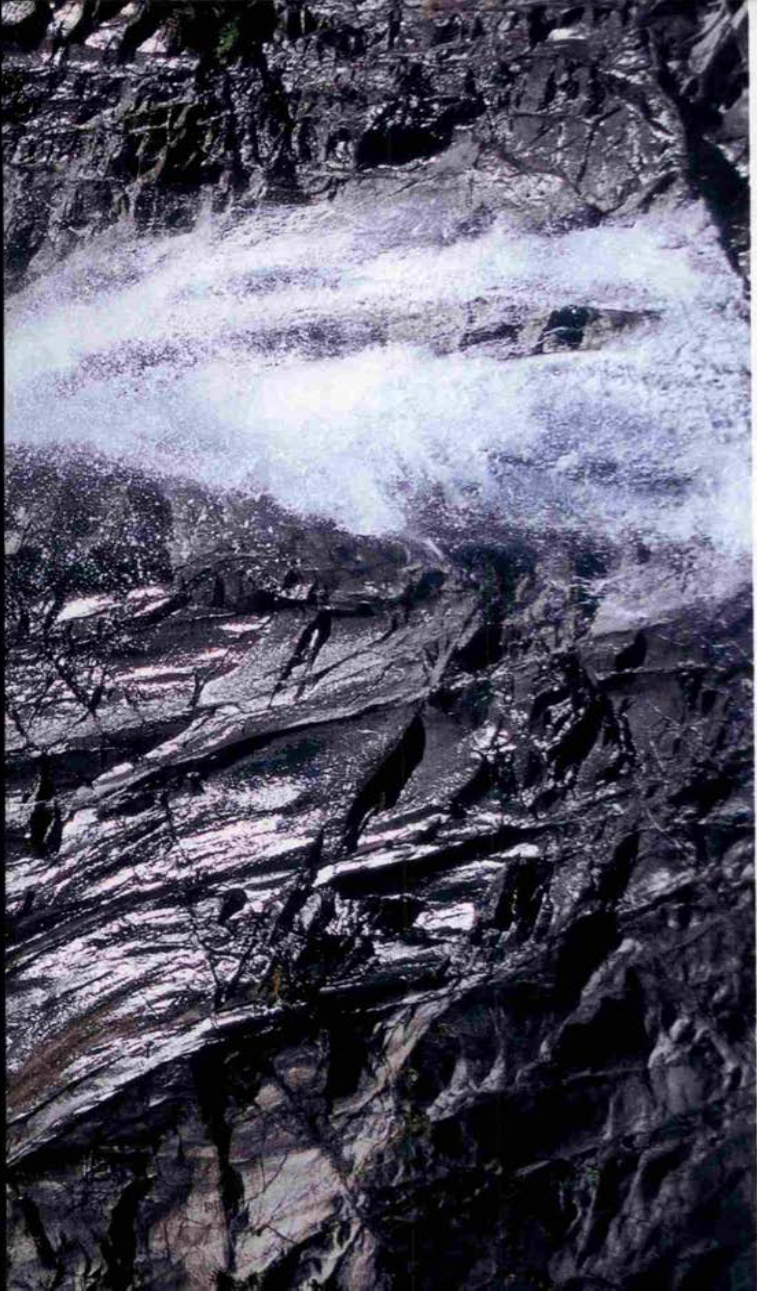
☎078-333-1301

ANGGLE KOBE

The Nunobiki Falls

July

Photo Mann Kikuchi







アニマル ベビー

Animal Baby

vol.4

甘えん坊と子煩悩のコモンリスザル

神戸市立王子動物園 5月21日生まれ

誕生した日の朝には、母親（リッツ4歳）の背中にしがみついていた。生まれた時の大きさは約20センチで、体重は90グラムほどでした。現在、母親が母乳で育てています。コモンリスザルの赤ちゃんは半年程、母親の体から離れることなく小さな手足でしがみついて過ごします。

約2年で大人の大きになります。

しっぽが長いことから、不思議そうに自分のしっぽを見つめたりしています。「これからも健康でぐすくと育ててくれればうれしいです。」と飼育員の長谷川昌宏さん。



表紙／石阪春生
 セカンドカバー／米田定蔵
 目次／山崎つる子
 7/10(土)～8/29(日) 芦屋市立美術館にて
 「リフレクション山崎つる子」開催

7月号目次◆2004-517

- 10 KOBECCO 2004/ジェシカ・ラングバイン/藤原健二
- 12 神戸スナップ
- 14 ある集い/キリン I-I サロン・神戸スポーツマンほろにが会
- 16 ANGLE KOBE/The Nunobiki Falls/菊池満
- 18 アニマルベイビー④ 王子動物園コモンスザル
- 20 文学散歩/田辺聖子ワールドと神戸・藤本ハルミ
- 24 神戸市長と中・高生のしゃべり場「こうしてみたい私たちの神戸」
- 28 Kobe Love Port・みなとまつり2004
- 32 第31回全国バーテンダー技能競技大会
 /第9回全国ジュニアカクテルコンペティション
- 34 浄徳寺 宇賀芳樹住職 大僧正昇補・大阿闍梨界

- 38 インタビュー/梅田 淳 神戸を語る
- 42 田中悠子〈創る〉対談シリーズ③/町本観光監
- 44 木村多恵子の暮しのエスプリ
- 46 神戸のお嬢さん/松井佑香里さん・富永啓子さん
- 49 ポンソワールマダム⑨/とみさと・濱田雅香
- 50 K O B E 観光マンガT & B①/藤原健二
- 52 エッセレバンビーノ⑩/華麗なる!?変身 190SL
- 55 私の意見/野上智行
- 56 ポエム・ド・コウベ/竹中部・え/小磯良平
- 58 創刊43周年記念復刻版名作シリーズ/淀川長治 他
- 64 林 敏之のヒューマン対談⑤/大沢みずほさんと語る
- 70 キネマの月の碑を建設しよう/青木重雄
- 74 名器に出会う/青木重雄
- 76 でん太の教えてドクター⑩/足立 優
- 78 プロフェッサーPの研究室/岡田 淳
- 80 神戸のアーバンデザイン/山本和代
- 81 神戸のモダンリビング/矢代 恵
- 82 バッチ・アダムスin神戸2004
- 83 インタビュー/上海太郎
- 84 次代を創る神戸のニューリーダー②/奥井秀樹
- 88 話題のひろば
- 92 ひょうごウォーク
- 94 有馬歳時記
- 96 応援エッセー/めざせV2 阪神タイガース②中野友擴
- 97 神戸の本棚
- 98 ミセスグリーンを知らないか?⑦/谷口良平
- 100 ぴっといん
- 102 イベントスケジュール
- 104 ポケットジャーナル
- 108 海・船・港/上川庄二郎
- 110 北斎ミステリー⑩/中右 瑛
- 112 みだら夜話⑩/浅黄斑・え/犬童 徹
- 114 コーヒーカップの耳②/出石アカル・え/菅原洗人
 ・題字/六車明峰
- 116 連載小説 鏡の中のサムライ⑦/中野順哉・え/平田郁
- 122 プレゼントメイト
- 123 愛読者サロン
- 126 神戸っ子倶楽部法人会ニュース
- 132 KITANO HOT NEWS
- 134 神戸うまいもん&ドリンキングNEWS
- 135 神戸百店会だよ

写真/米田定蔵 池田年夫 松原卓也 米田英男

□文学散歩へ田辺聖子全集発刊記念に 田辺聖子ワールドと 神戸

文／藤本ハルミ（デザイナー）
（K・F・M会長）

カメラ／米田英男



北野の異人館の坂道を歩く藤本ハルミさん／北野物語館前にて

神戸は風光明媚で、食べ物はおいしい上に、女性は美しく果敢で、しかも神戸はファッション都市宣言をしていて、これから世界のモードを、パリやニューヨークにடுத்துかわって神戸がリードしようという、遠大な計画を持っている。外人さんの多い土地柄、しみつたれた男尊女卑思想はない。

（田辺聖子長編全集 月報2「私と神戸」）

町の風趣もさりながら、いちばん好ましいのは、ここに住む人の気風なのだ。これだけは京都も大阪にもない。からっとして開放的で、遊び好き、ふざけるのや、はしゃぐのが大好き、何か会でもやろうとなると、バツと一致して、たちまち実行される。

（「歲月切符」）

田辺聖子先生のように、神戸の街や人々を愛し、理解し、その作品の中に想いをこめて書いて下さった作家は、他にいないのではなにか…。

ポトピア81の頃、異業種の女性達十数名で作ったマカンブツサークル（マレー語の大食漢）という会で、聖子先生の御主人のカモカのおっちゃんを、ゲストにお呼びした頃から先生とはぐっと親しくなっていた。「おっちゃんの杜



会デビューやよ」と先生も喜ばれて、あとで「あれは女の子、というもんじゃないで」と、それでもマカンブッサルをとっても気に入られたおっちゃんの様子を話して下さった。

異人館 坂道 山と海、そして神戸っ子たちを、小説の中にいっばい登場させ、私達はみな自分が主人公になった気持ちで、その小説を読み耽った。特に「ポートピア81の協賛小説や」と、当時サンデー毎日に連載された「ダンスと空想」は、まさにマカンブッサールの世界がモデルで、先生宅でおしゃべりをした私の



上 にしむら珈琲北野店にて、マカンブッサールのメンバー
 (右から、加藤きよ子さん/モダンダンサー、柳本薫さん/デザイナー、
 小泉美喜子/本誌編集長、藤本ハルミさん/デザイナー)
 右 クチュールマーガレットにて、ここから聖子ファッションが生まれる
 左中 聖子先生の自宅にて、カモカのおっちゃんの誕生会
 左下 13年続いた阿波踊りのカモカ連(徳島にて)



話が、まるでテープレコーダーにでも取っていたかのように正確に書かれてあった。聖子先生のその記憶力にあきれ果てたものであった。私にとって青春の記録のように、嬉しい思い出の一冊である。





上 賑わう湊川市場を歩く藤本ハルミさん
この近所にカモカのおっちゃん
の診療所があった
藤本さんの後輩、土合順子さんのお店
下 隣で聖子先生がよく卵焼きを買われて
いたそうだと

聖子先生がカモカのおっちゃん
と結婚された頃、荒田町の診療所
の近くに湊川市場があり、そこは
神戸の中でも屈指の市場で、先生
もよく買い物に行かれたとお聞き
した。

久しぶりにこの市場を通ると、
梅干しを漬ける季節なのか、店中
梅だらけの店があって、大勢の奥
さんやおかみさん連中がワイワイ
集っていて、やはりここは特別な
活気が感じられた。

この頃カモカのおっちゃんと高
橋猛さんひきまいるカモカ連で、阿

波踊りに十三年間通い、その後ヤ
ミの会（八月三日がカモカのおっ
ちゃんの誕生日）を八年。田辺邸
で遊ばせて頂いた。

それにしても、聖子先生は一体
いくつ賞をお取りになったのだろ
う。芥川賞以来、中間小説を書い
ていると言われたけれど、私は芥
川賞をとった小説も、それ以外の
ものも皆同じ、関西弁の関西ドラ
マが書きたかった。と話されたが、
先生の妻はその他、源氏物語を

始めとする古典から川柳までとい
ったその懐の深さである。

リーガロイヤルの菊の間で、三
百人の人を集め、月一回で源氏三
年、古典二年、計五年間先生の講
義に通ったが、元宝塚出身の柳本
薫さんが、「ちよっと、聖子セン
セ一人芝居できるよ」と言いたく
らい名調子で、先生は笑って「私
紙芝居ののりでやってるねん」と
おっしゃった。

私の「流れる季節に」のショー



を見て下さって以来、着物地のドレスをとでも愛して下さって、たくさん作らせて頂いた。

宮中にも受賞で二度参内されたが、一度は五月で、八つ橋に杜若の花、まさに光琳の世界のドレス。文化功労賞の時は、美智子皇后様が「可愛い、兔ちゃん」とおっしゃったという、刺繍の兔と金箔の小さなお月様の付け下げで作ったドレス。

その後先生は私の名前まで出して、色々な場面で宣伝して下さいました。私は自分の人生を振り返る時、田辺聖子先生を外すことはできない。先生のように偉大で可愛らしい人に出会ったことがない。私の知る限りの先生の世界は、明るく大きな愛に裏づけされて、いつも読む人に勇気を与えてくれる。易しい

言葉ではななりと「みんなゆつくり頑張るなあー」と言ってくれているようだ。



明石海峡大橋と移情閣が見える舞子公園にて、源氏物語に思いを馳せて



藤本さんデザインの、金箔蒔絵模付け下げ口紅ドレス。御所の庭(写真提供 主婦の友)

【第7巻】美しい日本語で読む田辺源氏 新源氏物語 [上]

発刊記念特別定価5,250円
2005年2月28日まで
定価5,775円

◆第2回配本 7月5日発売予定 以降毎月1冊、5日発売予定
【第8巻】新源氏物語 [下]

◆第3回配本 8月5日発売予定
【第6巻】言い寄る / 私的生活 / 苺をつぶしながら

集英社 〒101-8050 東京都千代田区一ツ橋2-5-10
www.shueisha.co.jp

